

令和2年10月16日

洞爺湖町議会令和2年10月会議
教 育 長 行 政 報 告

番 号 件 名

- 1 寄附について
- 2 縄文遺跡群世界遺産現地調査の実施について
- 3 公立高等学校配置計画の決定について
- 4 新型コロナウイルス感染症に関する対応等について（その8）

1 寄附について

前会議から本会議の間、次の方々より寄附の申し出があり、ご厚志に添うようありがたく受納いたしました。

- (1) 金員の寄附（洞爺湖町スポーツ振興基金へ）

洞爺湖スポーツクラブ

会長 青木 佐智子 氏

金額 37,367円

- (2) 文化財関係図書等の寄附（故・佐藤 忠氏所蔵）（虻田郷土資料館へ）

洞爺湖町高砂町84番地32

長沼 麻紀子 氏 図書 29冊

地図・絵葉書等 5点

- (3) 図書の寄附（洞爺総合センター図書室へ）

洞爺湖町入江55番地

齊藤 敬子 氏 図書 8冊

- (4) 郷土資料の寄附（洞爺郷土資料室へ）

洞爺湖町洞爺町73番地6

佐長 邦愛 氏 電信和文タイプライター 1台

電気式蓄音機 1台

- (5) 食材の寄附（洞爺湖町学校給食センターへ）

洞爺湖町入江84番地2

企業組合 あふた 代表理事 福島 浩二 氏

かぼちゃペースト 22.5kg

2 縄文遺跡群世界遺産現地調査の実施について

世界文化遺産に推薦されている「北海道・北東北の縄文遺跡群」について、ユネスコの諮問機関である国際記念物遺跡会議（ICOMOS）による現地調査が9月4日から9月15日までの期間で実施されましたので報告いたします。

このたびの調査では、文化庁をはじめとする関係機関、専門家からのアドバイスを踏まえて対応を行い、調査員に一定の理解を得たものと考えています。

今後の予定につきましては、令和3年5月ごろに現地調査に係る勧告が出され、さらに同年7月ごろに行われるユネスコ世界遺産委員会で登録の可否が決定する見込みとなっていますが、新型コロナウイルスの影響で、日程は不透明なものとなっています。

今後とも、関係自治体との連携を図り、文化庁や専門家委員会の指導、助言を得ながら、世界遺産登録実現に向けて取り組んでまいりますので、ご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

3 公立高等学校配置計画の決定について

9月7日、北海道教育委員会は令和3年度から令和5年度に係る公立高等学校配置計画と、令和6年度から令和9年度までの見通しを公表しました。

胆振西学区に関しては、本年6月に公表された計画案からの変更はなく、令和5年度に室蘭栄高等学校で1学級減となっています。

また、令和6年度から令和9年度までの見通しとしては、中卒者が150人減少することが見込まれることから、「4年間で3～4学級相当の調整が必要」、「中卒者数や欠員の状況、学校・学科の配置状況を考慮し、室蘭市内において再編整備を含めた定員調整の検討が必要」、「欠員が40人以上生じている学校について、学科の見直しや定員調整などについて検討が必要」となっています。

なお、虻田高等学校が含まれる地域連携特例校に関しては、「5月1日現在の第1学年の在籍者数が20人未満となった場合は、所在市町村をはじめとした地域における高校の教育機能の維持向上に向けた具体的取組とその効果を勘案した上で、再編整備を留保」としています。この内容に沿い、1年生在籍者数16人の虻田高等学校について、令和5年度は再編整備留保となっています。

4 新型コロナウイルス感染症に関する対応等について（その8）

新型コロナウイルス感染症に関する対応等について、次のとおり報告いたします。

(1) 洞爺湖町育英資金特別給付金の給付状況について

洞爺湖町育英資金特別給付金の給付状況について、次のとおり報告いたします。

	延べ件数			備 考
	前回報告数 9/3 現在	今回報告数 9/4～10/9	計 10/9 現在	
給付決定 件 数	90	7	97	《在学の区分》 大学68件、短期大学8件、 専修学校（専門課程）21件